

# ***Space-E/Mold Ver.5.2***

---

**【For Customers Only】**

**インストールガイド**

---

ACIS<sup>®</sup> は、Spatial CorporationによってUS Patent and Trade Mark Office(米国特許庁)に商標登録されています。  
Windows<sup>®</sup> 2000、Windows<sup>®</sup> XP、Windows<sup>®</sup> Vista、Windows<sup>®</sup> 7またその他のマイクロソフト製品の名称および製品名は、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における商標または登録商標です。  
その他の製品および会社名等は、各社の商標または登録商標です。

■ご注意

- ・本書の内容及びソフトウェアは、予告無しに変更されることがあります。
- ・本書の内容は細心の注意をもって作成していますが、万一ご不審な点や誤り、記載もれなどお気づきの点がございましたら、弊社または販売代理店までご連絡ください。
- ・本書に記述するソフトウェアを運用した結果発生する損害につきましては、本書の記述およびソフトウェアの不備にかかわらず責任を負いかねますので、ご了承ください。
- ・本書および本書に記載するソフトウェアは、著作権法上の保護をうけています。
- ・株式会社NTTデータエンジニアリングシステムズに対し文書の承認を得ずに、無断で本書およびソフトウェアの一部あるいは全部について、複写および複製することは禁じられています。

## 目 次

ハードウェア環境.....	3
● 推奨ハードウェア環境.....	3
インストール前に.....	4
Space-E/Mold のインストール.....	5
● Space-E/Modeler、Space-E/Draw のインストール.....	7
● Space-E/Mold のインストール(新規).....	8
● Space-E/Mold のインストール(バージョンアップ).....	18
ライセンスの登録について.....	29
● 概要.....	29
Space-E/Mold の起動と終了.....	30
● 金型設計コマンド.....	30
● 図面化コマンド.....	32
オンラインマニュアル.....	33
● オンラインマニュアルの起動と終了.....	33
● オンラインマニュアルの構成と操作方法.....	34
付録.....	36
● Space-E/Mold のアンインストール.....	36
● Space-E/Modeler、Space-E/Draw の環境の復旧.....	37
● Space-E シリーズを Windows XP ServicePack3 で動作させる際の注意点.....	39



## ハードウェア環境

*Space-E/Mold* を実行するために必要なシステム環境を下記に示します。

### ● 推奨ハードウェア環境

OS環境	Windows XP Professional ServicePack3以降 <sup>※1)</sup>	Windows 7 Professional (64ビットを含む)
対応機種	Pentium4 1.5GHz以上 (推奨 Pentium4 2.0GHz以上)	Core 2以上 (64ビットOSの場合は64ビットOSに対応したCPUが必要です)
メモリ	512MB以上 (推奨 1GB以上)	2GB以上 (推奨 32ビット : 2GB、64ビット : 3GB以上)
ディスク容量 (スワップ)	システム1GB以上 ページファイル1GB以上	
その他	グラフィックスボード : <i>Space-E</i> に準拠 1280×1024 65535色以上 3ボタンマウスまたはホイールマウス ネットワークボード <i>Internet Explorer</i> 7.0以上 CSV形式のファイルが読み込めるソフトウェア ( <i>Microsoft Excel</i> など)	

※1) 3GBスイッチを付けた状態での動作確認はしていません。

※ *Space-E/Mold* Ver.5.2はWindows 2000、Windows Vistaの環境にて動作保証されていません。

※ *Space-E/Mold* Ver.5.2の動作には、*Space-E/Modeler* Ver.5.2が必要です。  
このため、*Space-E/Modeler*のディスク容量が別途必要になります。  
また、*Space-E/Draw* Ver.1.6以上のインストールを推奨します。  
この場合、さらに*Space-E/Draw*のディスク容量が別途必要になります。

※ 金型標準ライブラリの部品数が増えると、必要なディスク容量が大きくなる可能性があります。

※ Windows Vistaは、*Space-E* Ver.5.1で動作保証を終了いたしました。

※ *Space-E/Mold* Ver.5.2はWindows 8での動作保証は行っていません。

---

## インストール前に…

---

*Space-E/Mold*のインストールを開始する前に、以下の内容を確認してください。

- *Space-E/Mold*旧バージョン(\*1)を使用していたか。  
新バージョン(\*1)は旧バージョンに上書きしますので、必要なファイルは別のフォルダに移動してください。

(\*1) *Space-E/Mold*の旧バージョンとは、以下のバージョンを指します。

Version : 1.0, 1.1, 1.2, 1.3, 2.0, 2.1, 2.2, 3.0, 3.1, 3.2, 3.3, 3.4, 4.0, 4.1, 4.2, 4.3, 4.4, 4.5, 5.0, 5.1

また、新バージョンとは、Version 5.2です。

---

## Space-E/Moldのインストール

---

Space-E/Moldを新規にインストールする場合と、旧バージョンがインストールされているPCにインストールする場合とは、インストールの手順が異なります。

PCのインストール状況を確認の上、以下のインストール手順に従ってください。

**新規にインストールする場合 ..... 7ページへ**

**Ver.2.2以前のバージョンがインストールされている場合 .....**

Space-E/Mold新バージョンをインストールする前に以下の作業が必要です。

- 特殊部品のモデルファイルのバックアップ  
(インストール先ドライブの¥HZZ¥Mold¥PartsLibDB\_POOL¥Specialフォルダのバックアップを作成してください。このフォルダ内のsatファイルを新バージョンで使用することが可能です。)
  - Space-E/Mold旧バージョンのアンインストール (P.36参照)
  - Space-E/Modeler, Space-E/Drawの環境の復旧 (P.37参照)
  - Space-E/Modeler, Space-E/Drawのアンインストール
  - 上記作業を終了後、Space-E/Mold新バージョンのインストール (P.7参照) を開始してください。
-

**Ver.3.0～Ver.4.2がインストールされている場合** .....

*Space-E/Mold*新バージョンをインストールする前に以下の作業が必要です。

*Space-E/Mold*旧バージョンのアンインストール (P.36参照)

*Space-E/Modeler*, *Space-E/Draw*の環境の復旧 (P.37参照)

*Space-E/Modeler*, *Space-E/Draw*のアンインストール

上記作業を終了後、*Space-E/Mold*新バージョンのインストール (P.7参照) を開始してください。

**Ver.4.3～Ver.5.1がインストールされている場合** .....

*Space-E/Mold*新バージョンのインストール(バージョンアップ) (P.18参照) を開始してください。

## ● Space-E/Modeler、Space-E/Drawのインストール

---

*Space-E/Modeler* Ver.5.2をインストールします。  
図面化コマンドをご利用の場合は、*Space-E/Draw*(Ver.1.6以上)もインストールします。

*Space-E/Mold* Ver.4.3~Ver.5.1をインストールされている方は*Space-E/Modeler* Ver.5.2、*Space-E/Draw*をインストールせずに手順28より実行してください。

*Space-E/Modeler*のインストール手順については、「*Space-E* Ver.5.2インストールガイド」を、*Space-E/Draw*のインストール手順については、「*Space-E/Draw* インストールガイド」を参照してください。

## ● Space-E/Mold のインストール(新規)

1. **Administrator**または**Administrator権限を持つユーザ**でログオンします。

DVD-ROMドライブにシステムメディアをセットします。自動的にインストーラが起動します。インストーラの『Moldインストール』をクリックするとインストールが開始されます。



※インストーラが起動しない時は、DVD-ROM内のSetup.exeを実行してください。

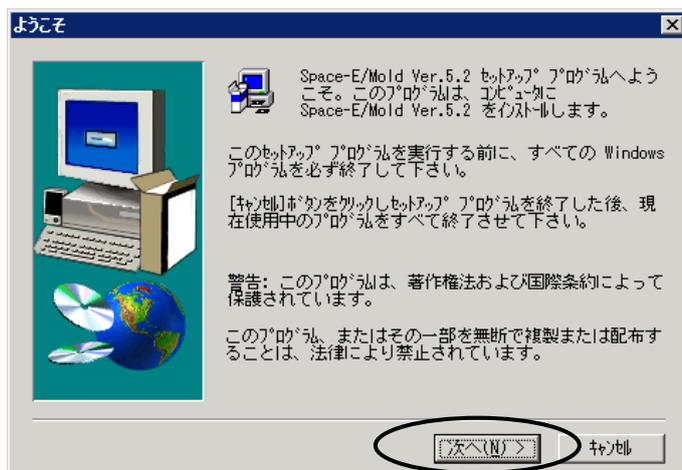
Setup.exeの場所

32ビット: Mold32¥Disk1¥Setup.exe

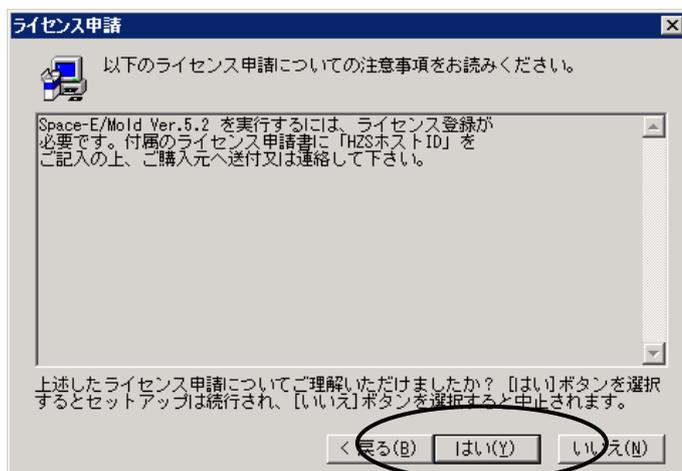
64ビット: Mold64¥Disk1¥Setup.exe



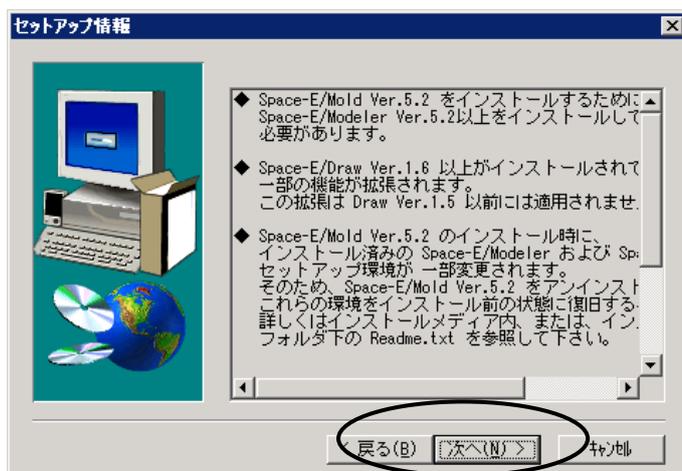
2. 「次へ」をクリックします。



3. 「はい」をクリックします。



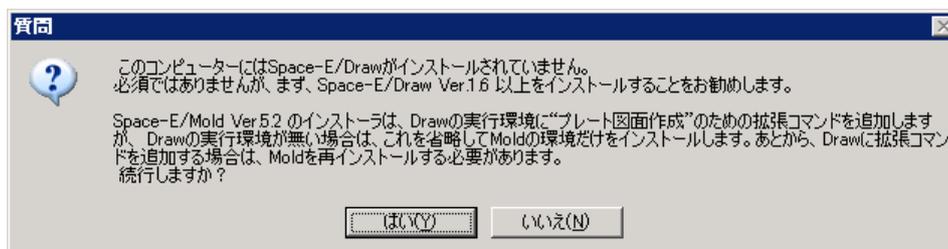
4. 「次へ」をクリックします。



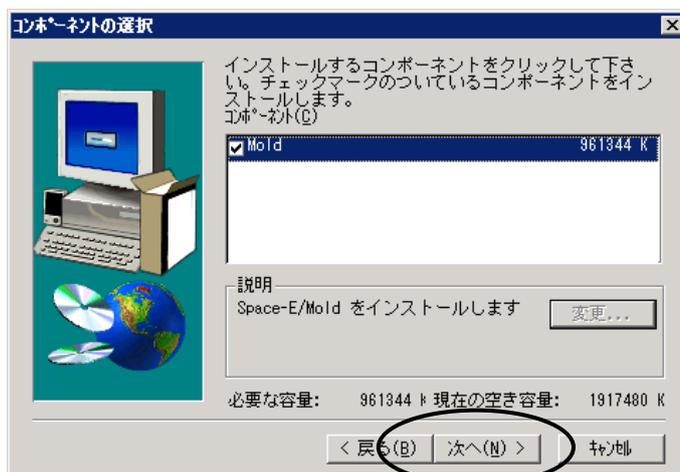
5. Space-E/Drawがインストールされていない場合、インストールを促すパネルが表示されます。

Space-E/Drawをインストールする場合は、「いいえ」をクリックしてインストーラを一度終了します。Space-E/Drawをインストール後、再度手順1からの手順を行ってください。

Space-E/Drawをインストールしない場合は、「はい」をクリックして手順6へ進みます。

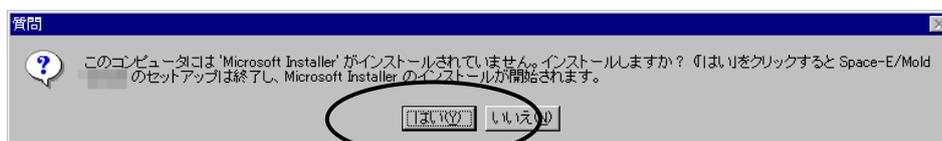


6. 「次へ」をクリックします。



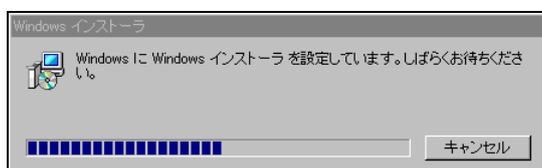
7. Microsoft Installerがインストールされていない時は、ここでMicrosoft Installerのインストールを開始します。

Microsoft Installerが既にインストールされている時は、このパネルは表示されません。手順15からの手順を行ってください。



## <Microsoft Installerのインストール>

8. しばらく待ちます。



## 9. PCを再起動します。

「Windowsインストーラに行った構成の変更を有効にするには、システムを再起動する必要があります。すぐに再起動する場合は“はい”を、後で手動で再起動する場合は“いいえ”をクリックしてください。」というメッセージダイアログが表示されたら「はい」をクリックしてください。

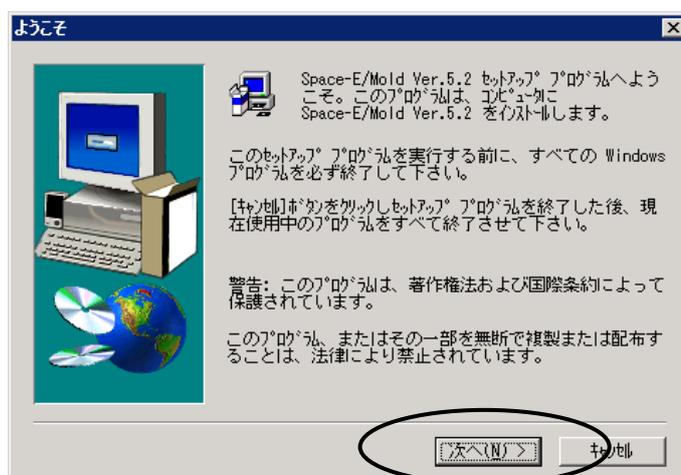
あるいは、「Windowsインストーラのセットアップを正しく完了しました。」というメッセージダイアログが表示されたら、「OK」をクリックして、PCを再起動してください。

## 10. PCが再起動したら、AdministratorまたはAdministrator権限を持つユーザでログオンします。

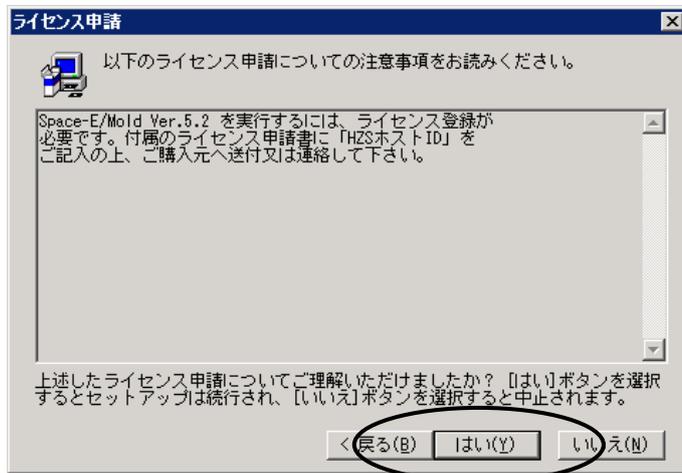
再度、インストーラの『Moldインストール』をクリックし、再びインストーラを起動してください。



## 11. 「次へ」をクリックします。



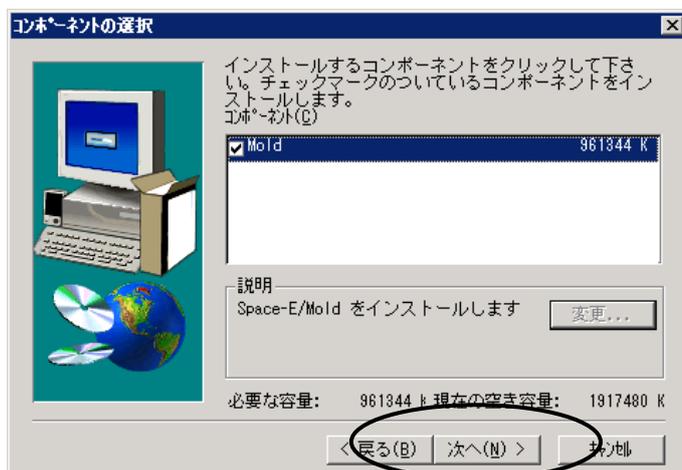
12. 「はい」をクリックします。



13. 「次へ」をクリックします。



14. 「次へ」をクリックします。



15. *MSXML3SP2*がインストールされていない時は、ここで*MSXML3SP2*のインストールを開始します。  
*MSXML3SP2*が既にインストールされている時は、このパネルは表示されません。手順26からの手順を行ってください。



### 注意

「Microsoft Installerのバージョンが異なるため、インストールできません」というメッセージが表示されて、*MSXML3SP2*がインストールできない場合があります。この場合、DVD-ROM内「**InstMsi.exe**」を実行し、*Microsoft Installer*をインストールしてください。インストール後は再起動して、手順10からの手順を行ってください。

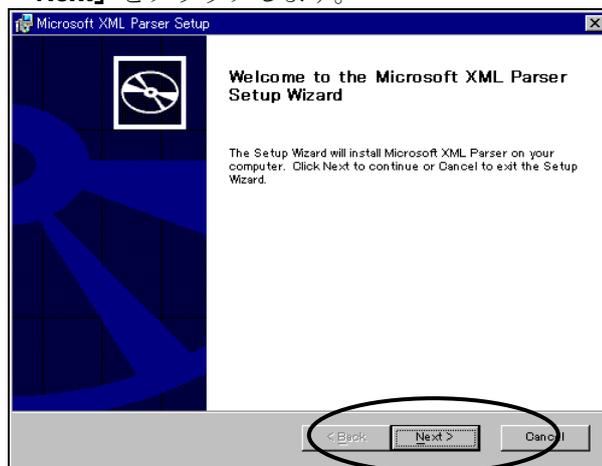
InstMsi.exeの場所

32ビット版: Mold32¥Disk1¥InstMsi.exe

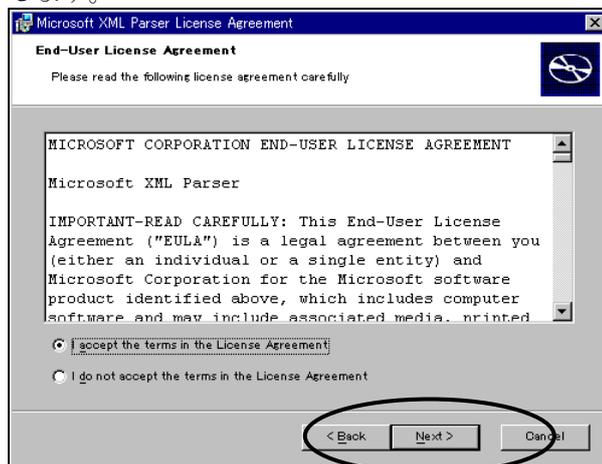
64ビット版: Mold64¥Disk1¥InstMsi.exe

### <Microsoft XML3 SP2のインストール>

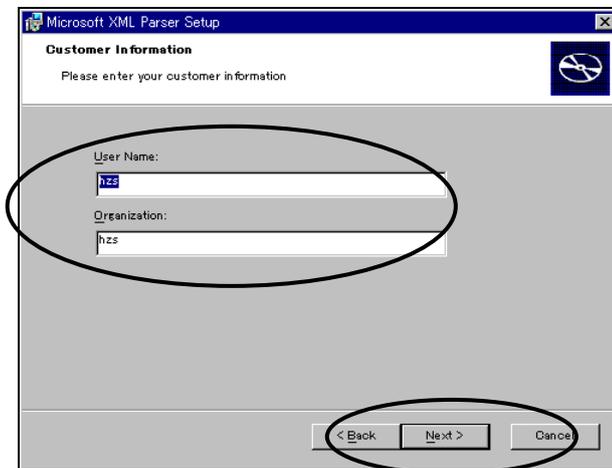
16. 「Next」をクリックします。



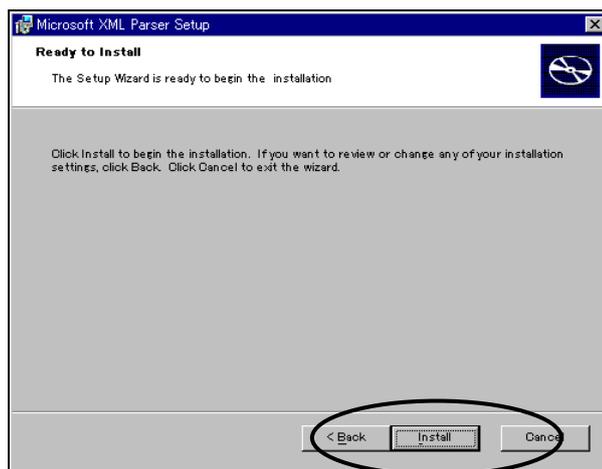
17. 「I accept the terms in License Agreement」をチェックして、「Next」をクリックします。



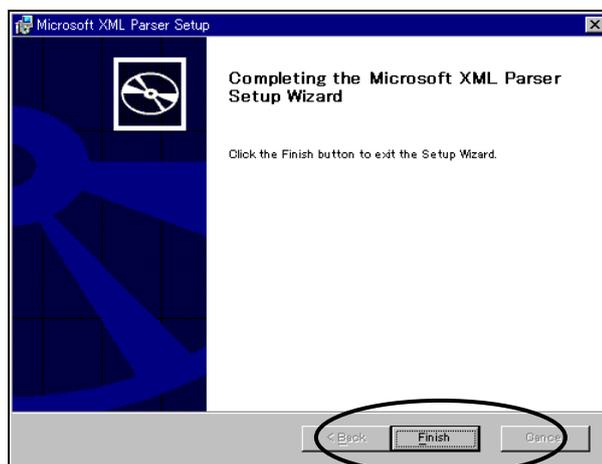
18. 「User Name」に**ユーザ名**、「Organization」に**組織名**を入力して、「Next」をクリックします。



19. 「Install」をクリックします。



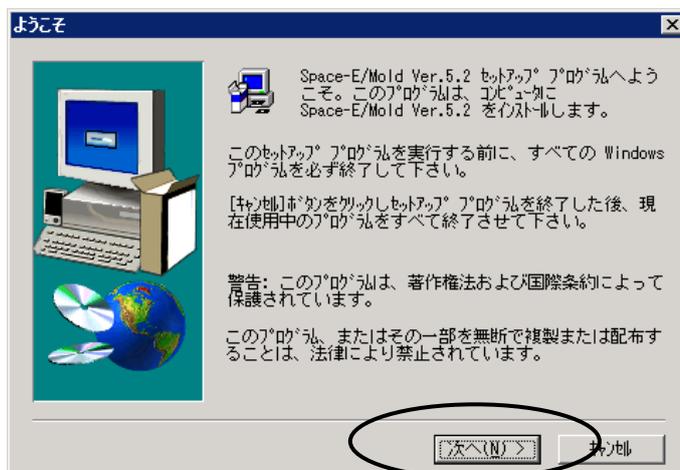
20. 「Finish」をクリックします。  
※ここで必ず**PCを再起動**してください。



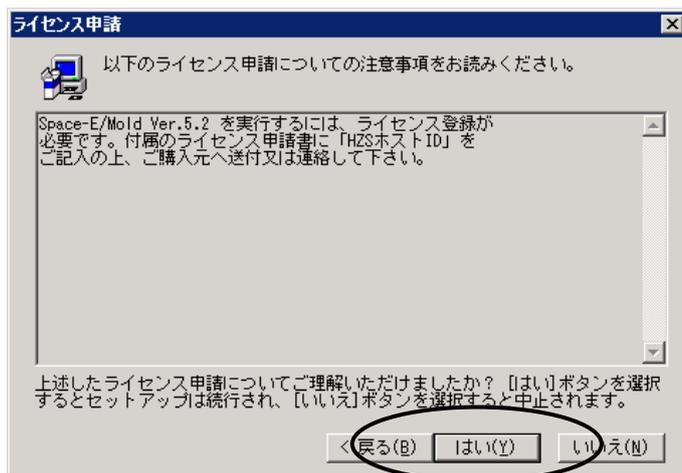
21. PCが再起動したら、**Administrator**または**Administrator権限を持つユーザ**でログオンします。  
再度、インストーラの『Moldインストール』をクリックし、再びインストーラを起動してください。



22. 「次へ」をクリックします。



23. 「はい」をクリックします。



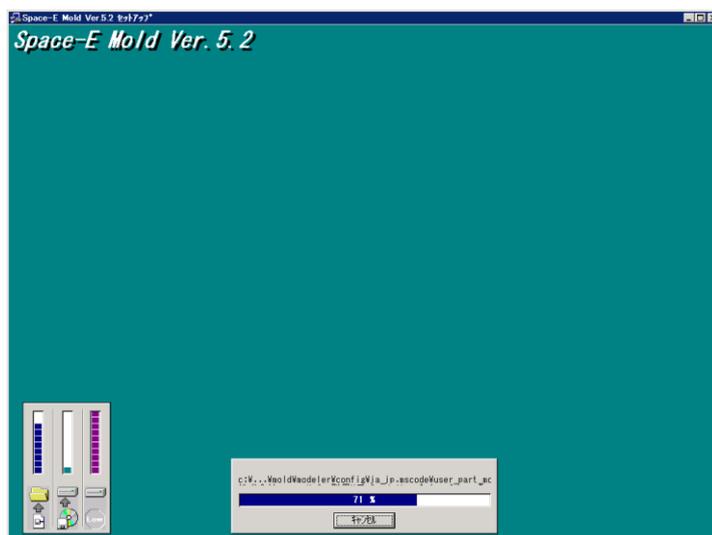
24. 「次へ」をクリックします。



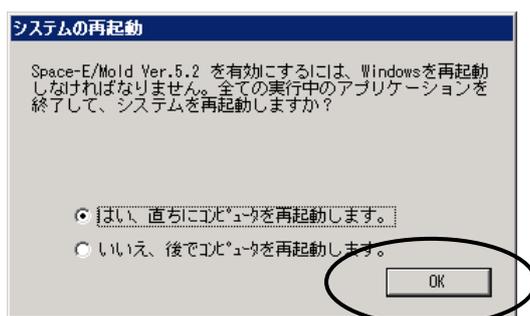
25. 「次へ」をクリックします。



26. Space-E/Modeler、Space-E/Drawのバックアップを作成し、Space-E/Moldのインストールが開始します。しばらく待ちます。



27. インストールが完了したので、PCを再起動します。「はい、直ちにコンピュータを再起動します。」が選択されていることを確認し、「OK」をクリックします。



## ● Space-E/Mold のインストール(バージョンアップ)

28. **Administrator**または**Administrator権限を持つユーザ**でログオンします。

DVD-ROMドライブにシステムメディアをセットします。自動的にインストーラが起動します。インストーラの『Moldインストール』をクリックするとインストールが開始されます。



※インストーラが起動しない時は、DVD-ROM内のSetup.exeを実行してください。

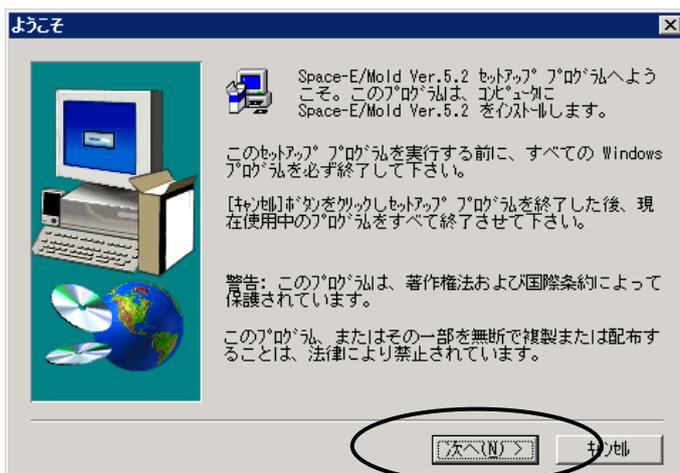
Setup.exeの場所

32ビット版: Mold32¥Disk1¥Setup.exe

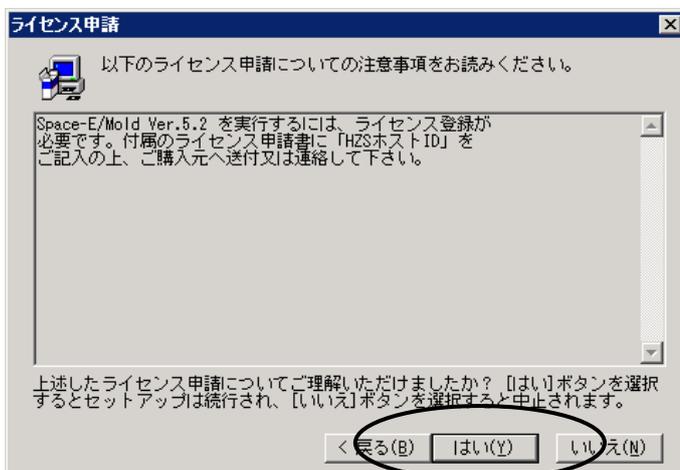
64ビット版: Mold64¥Disk1¥Setup.exe



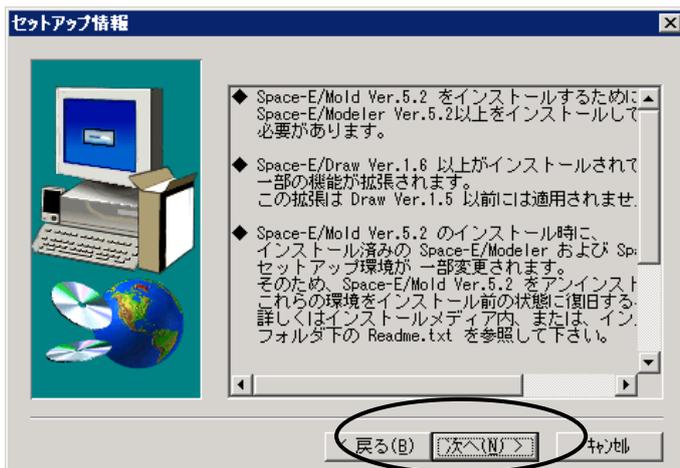
29. 「次へ」をクリックします。



30. 「はい」をクリックします。



31. 「次へ」をクリックします。



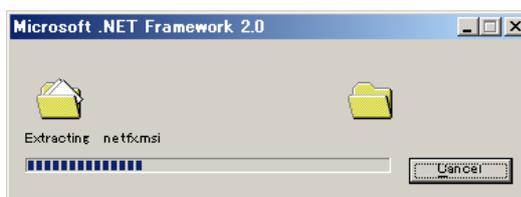
32. これまでの環境をバックアップするかどうかの確認を行います。バックアップするのであれば「はい」ボタンを、しないのであれば「いいえ」ボタンをクリックします。「いいえ」ボタンをクリックした場合、手順47まで進みます。



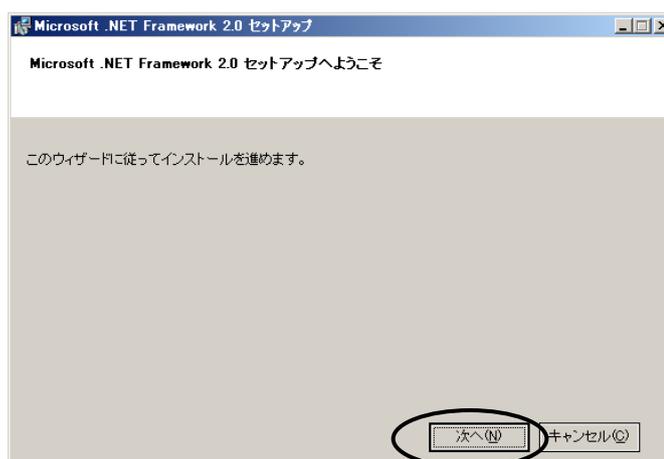
33. .Net Framework 2.0がインストールされていない場合、次のウインドウが表示されます。既に.Net Framework 2.0をインストールされている方は手順44まで進みます。そうでない方は「OK」ボタンをクリックし、.Net Framework 2.0のインストールを開始します。



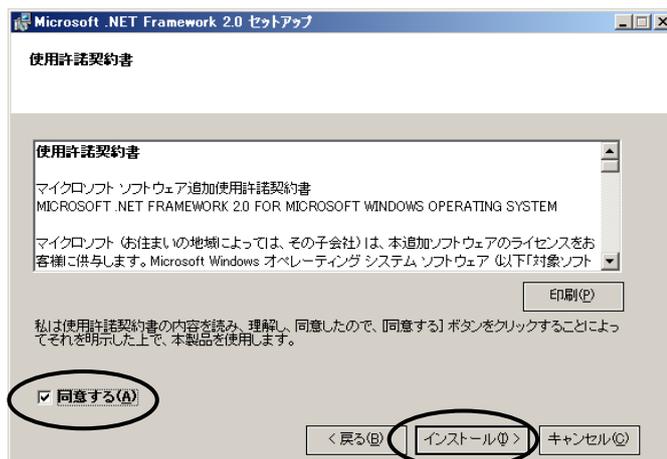
34. 次のパネルが表示されるのでしばらく待ちます。



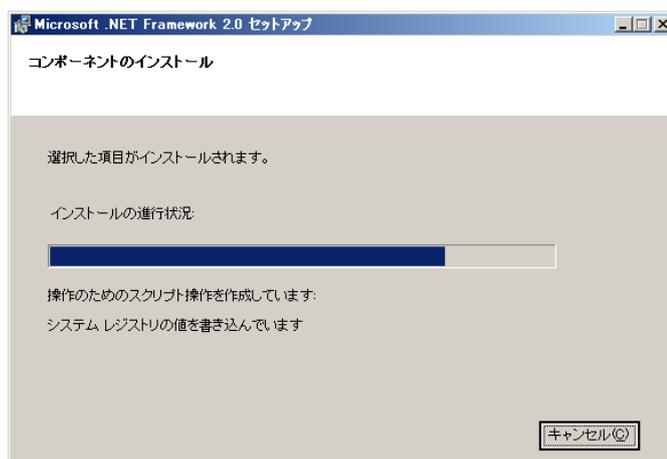
35. 「次へ」をクリックします。



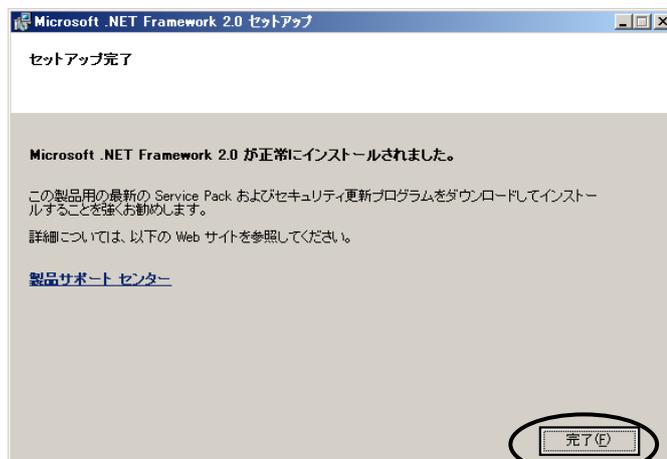
36. 「同意する」にチェックを入れ、「インストール」をクリックします。



37. インストールが完了するまでしばらく待ちます。



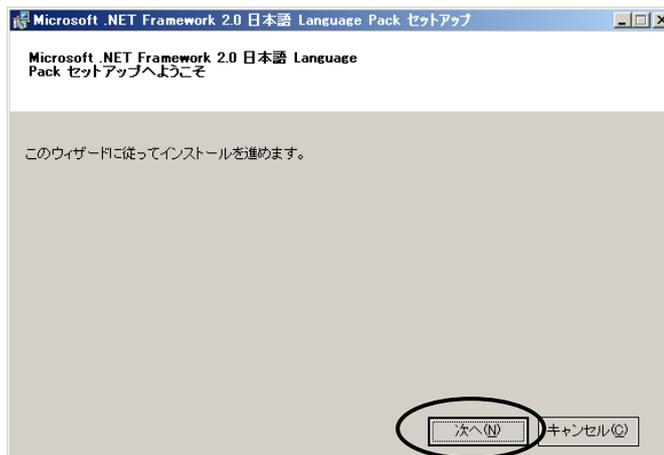
38. 「完了」をクリックします。



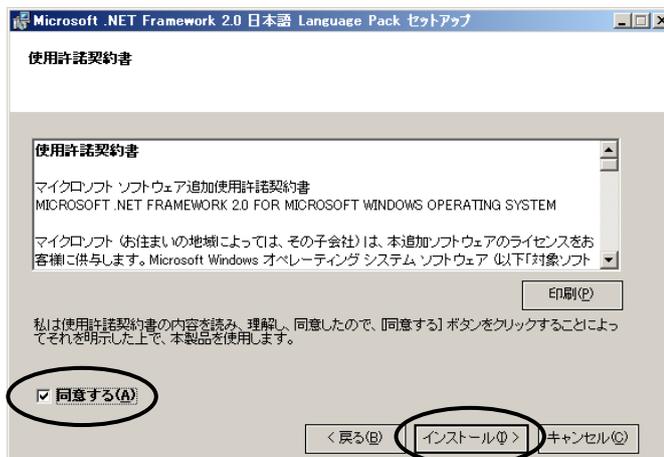
39. 次のパネルが表示されるのでしばらく待ちます。



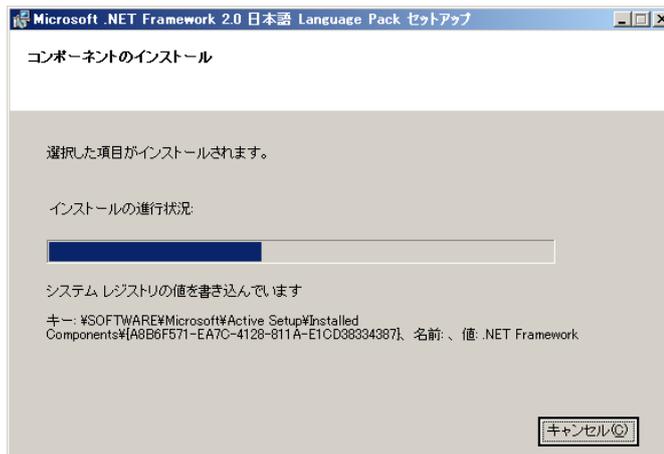
40. 「次へ」ボタンをクリックします。



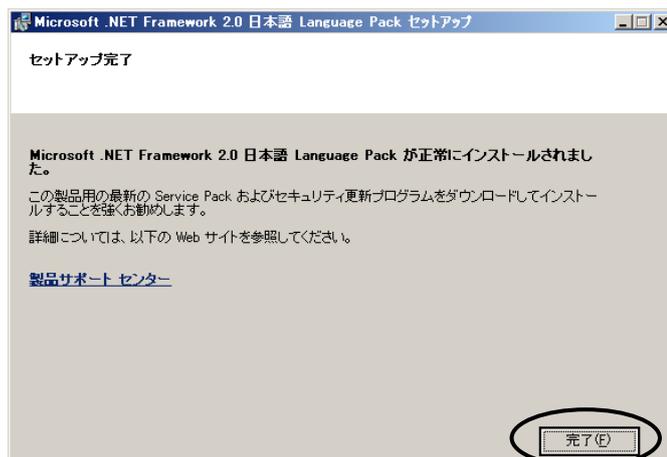
41. 「同意する」にチェックを入れ、「インストール」ボタンをクリックします。



42. インストールが完了するまでしばらく待ちます。

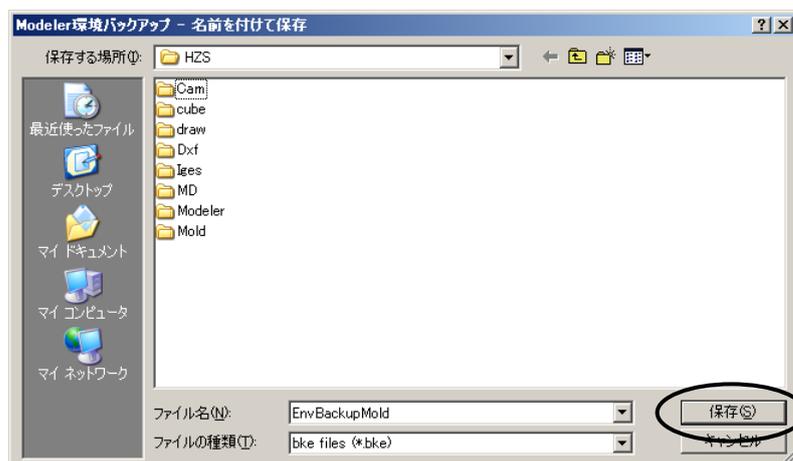


43. 「完了」をクリックします。



※) 日本語環境以外にインストールする場合にはその環境の langpack.exe を取得する必要があります。

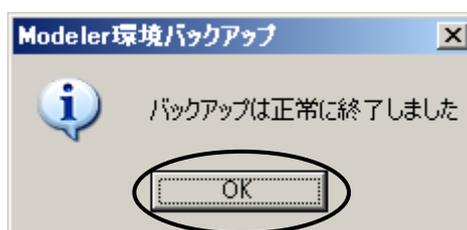
44. バックアップファイルの名前を決定し、「保存」ボタンをクリックします。



45. しばらく待ちます。



46. 「OK」ボタンをクリックします



47. 「OK」 ボタンをクリックします。



48. しばらく待ちます。

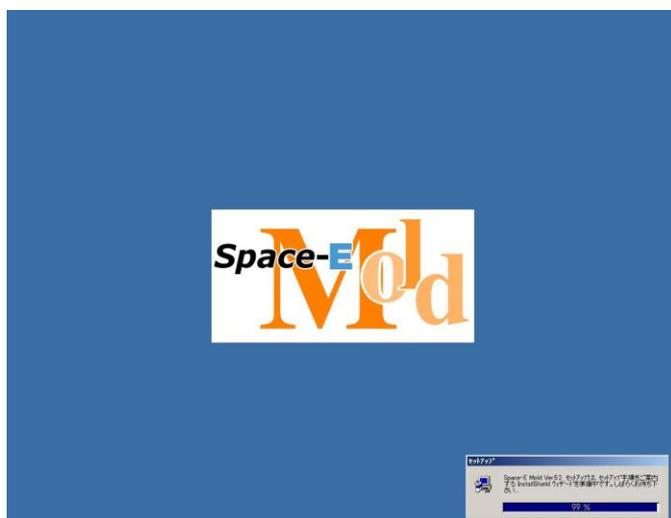


49. 「OK」 ボタンをクリックし、一度インストーラを終了させてから *Space-E/Modeler Ver.5.2* をインストールします。図面化コマンドをご利用の場合は、*Space-E/Draw*(Ver.1.6以上)もインストールします。

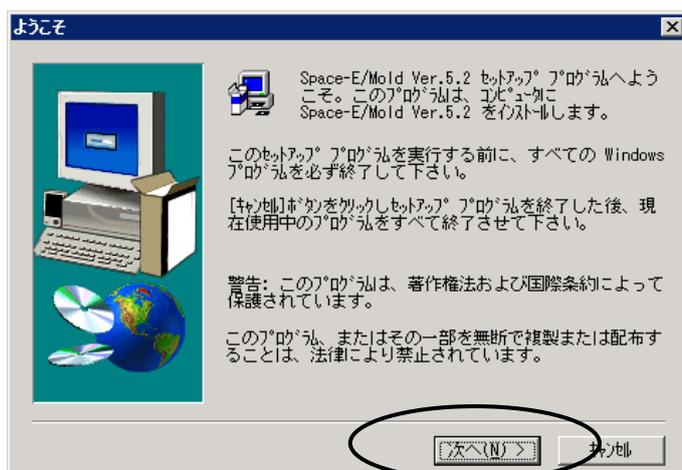
*Space-E/Modeler*のインストール手順については、「*Space-E Ver.5.2*インストールガイド」を、*Space-E/Draw*のインストール手順については、「*Space-E/Draw* インストールガイド」を参照してください。



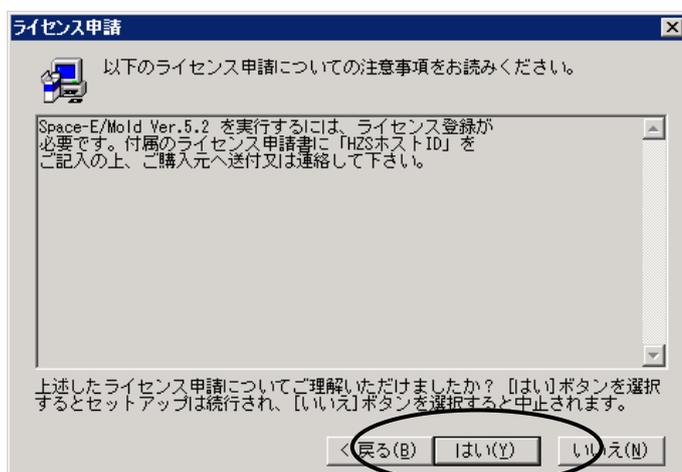
50. PCが再起動したら、**Administrator**または**Administrator権限を持つユーザ**でログオンします。  
再度、インストーラの『Moldインストール』をクリックし、再びインストーラを起動してください。



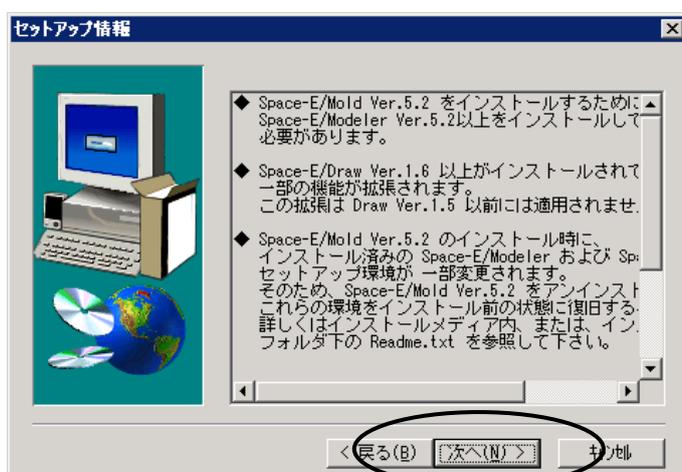
51. 「次へ」をクリックします。



52. 「はい」をクリックします。



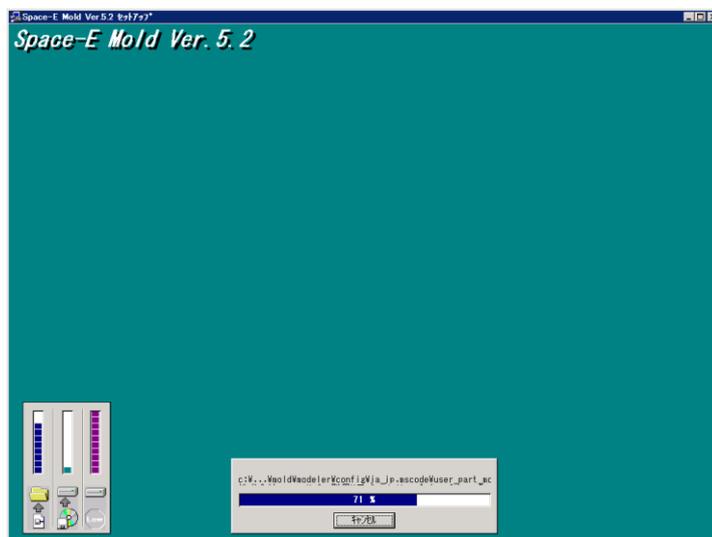
53. 「次へ」をクリックします。



54. 「次へ」をクリックします。



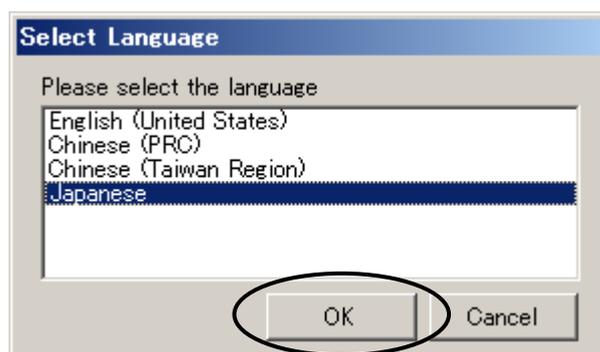
55. *Space-E/Modeler*、*Space-E/Draw*のバックアップを作成し、*Space-E/Mold*のインストールが開始します。しばらく待ちます。



56. 手順32で「はい」ボタンをクリックした場合、バックアップした環境の挿入が開始されます。手順32で「いいえ」ボタンをクリックした方は手順60まで進みます。「はい」ボタンをクリックした方は、「OK」ボタンをクリックします



57. 使用する言語を選択し、「OK」ボタンをクリックします。

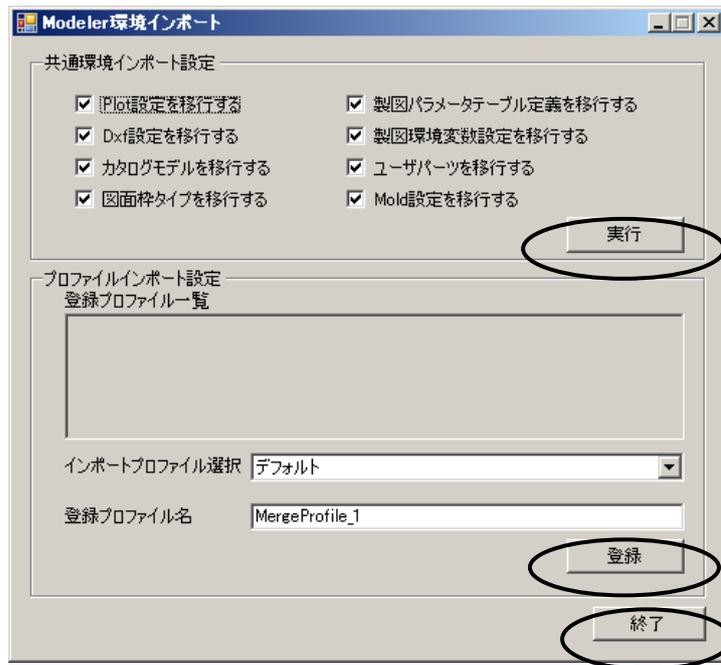


- ※) 誤った言語を設定してしまった場合は、スタートメニューからインポート機能を実行します。  
(スタート->すべてのプログラム->Space-E Ver.5.2->Modelerツール->Modeler環境挿入をクリックします。)  
詳細はオンラインマニュアルを参照してください。

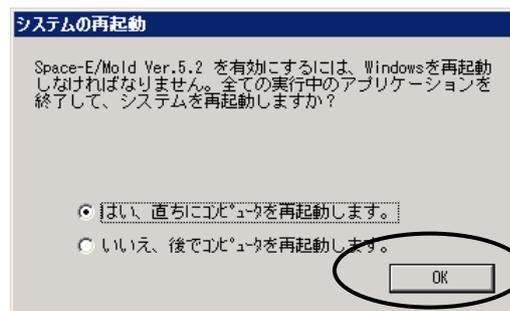
58. しばらく待ちます。



59. 環境インポートを使用します。 共通インポート設定ではインポートしたい項目にチェックを押して「実行」ボタンをクリックします。プロファイルインポート設定では、インポートしたいプロファイル名を選択し、インポート後のプロファイル名を記入した後に「登録」ボタンをクリックします。すべての作業が終わったら「終了」ボタンをクリックします。



60. インストールが完了したので、PCを再起動します。「はい、直ちにコンピュータを再起動します。」が選択されていることを確認し、「OK」をクリックします。



---

## ライセンスの登録について

---

### ● 概要

---

*Space-E/Mold Ver.5.2*を起動するためには、ライセンスキーの登録が必要です。また、*Space-E/Modeler Ver.5.2*のライセンス登録も必要です。

ライセンスを取得するには3日かかりますので、「*Space-E*ライセンス要求書」は早めにお送りください。

PCに*Windows*をインストールし直した場合には、再度ライセンスキーを登録する必要があります。

ライセンス登録の操作手順については、*Space-E/Modeler Ver.5.2*のインストールガイドを参照してください。

※ *Space-E/Mold Ver.5.2* では、*Space-E/Mold Ver.5.2*のライセンスが必要となりますので、注意してください。

## Space-E/Moldの起動と終了

Space-E/Modeler起動用ユーザでログオンします。

Space-E/Moldには、Space-E/Modeler上で動作する金型設計コマンド、Space-E/Draw上で動作する図面化コマンドがあります。

ここでは、それぞれの起動方法と終了方法について説明します。

注意：Space-E/Draw上で動作する図面化コマンドは、Space-E/Moldインストール作業前にSpace-E/Draw Ver.1.6以上をインストールしている場合のみ利用可能となります。

### ● 金型設計コマンド

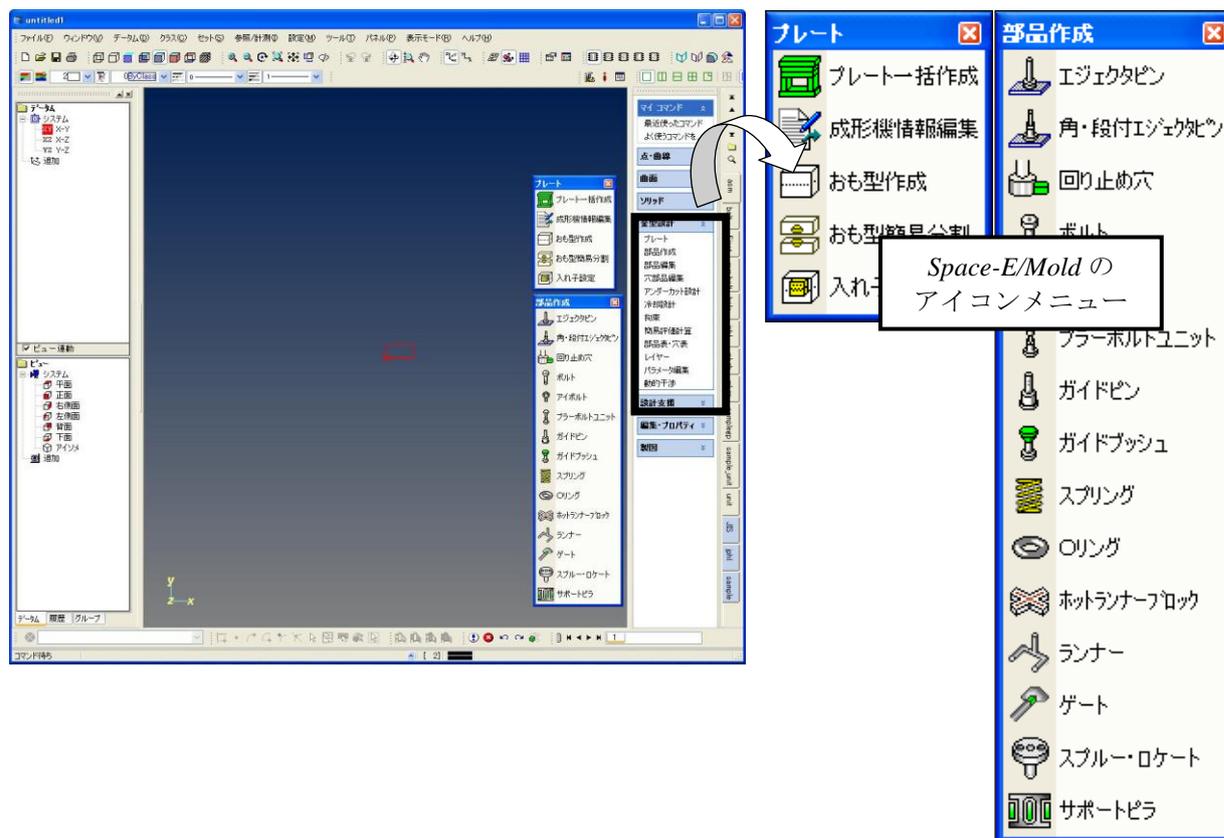
#### Space-E/Moldの起動

[スタート] - [すべてのプログラム] - [Space-E Ver.5.2] - [Modeler] で起動します。



Space-E/Modelerが起動されます。

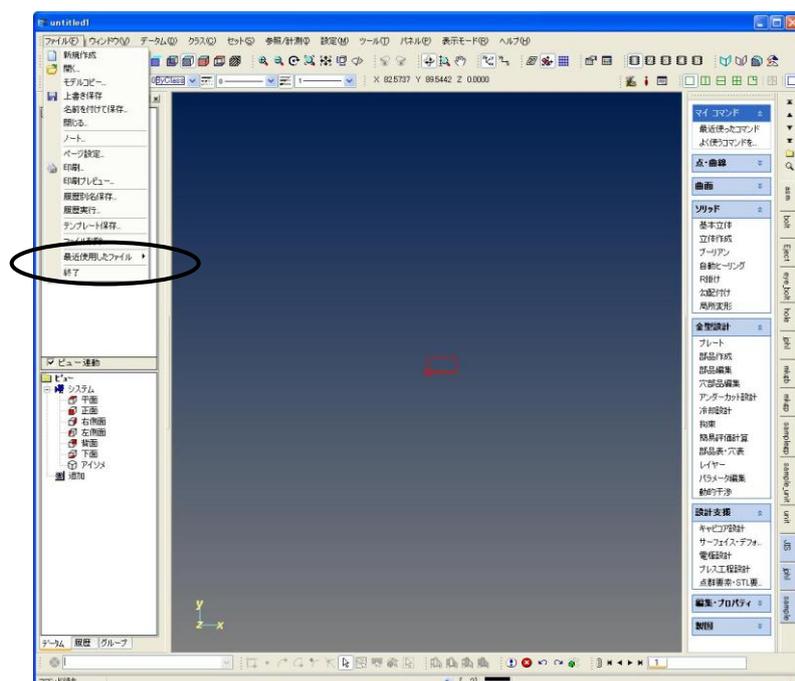
Space-E/ModelerのアイコンメニューにSpace-E/Moldのアイコンメニューが追加されています。



## Space-E/Moldの終了

補助コマンドメニューから〈ファイル/終了〉を選択します。

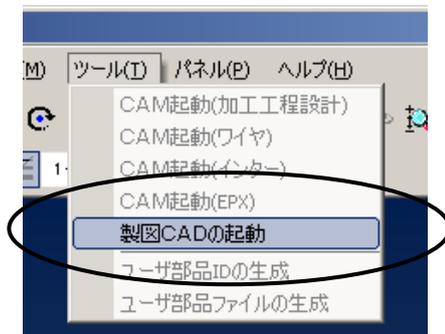
これでSpace-E/Moldが終了します。



## ● 図面化コマンド

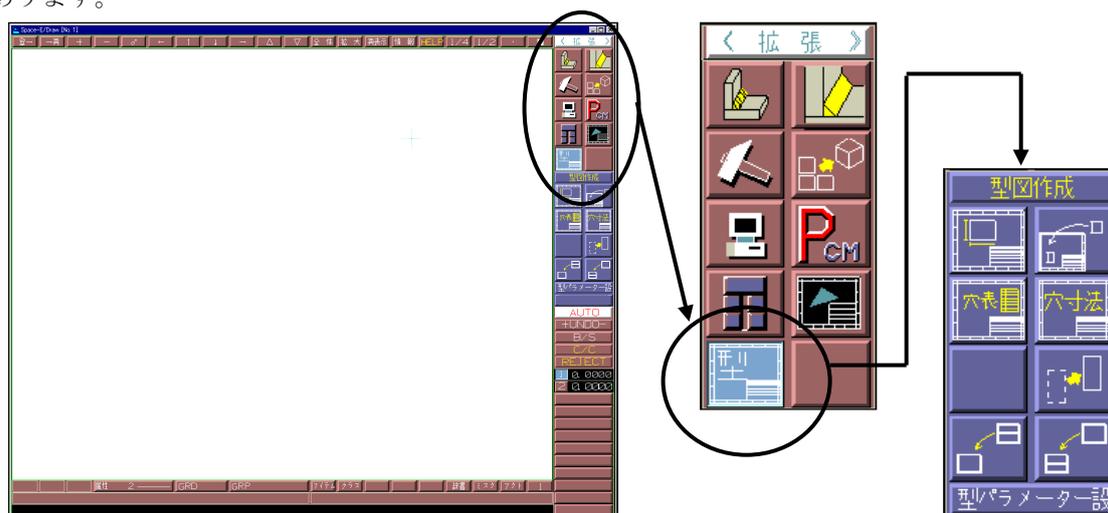
### 図面化コマンドの起動

Space-E/Modelerのドラフティングアレンジ機能から、Space-E/Drawにデータを渡します。  
補助コマンドメニューから〈ツール／製図CADの起動〉を選択します。



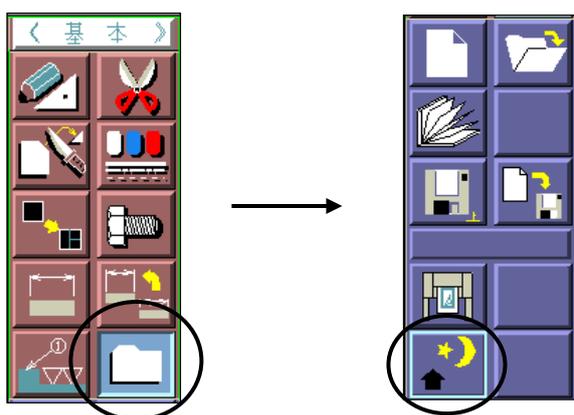
Space-E/Drawが起動されます。

メインメニューを《拡張》にします。小分類メニュー《型図作成》にSpace-E/Mold用の図面化コマンドがあります。



### 図面化コマンドの終了

メインメニューを《基本》に変更し、《ファイル／終了》を選択します。



# オンラインマニュアル

Space-E/Moldにはオンラインマニュアルが用意されています。

ここでは、オンラインマニュアルの操作方法を簡単に説明します。

## ● オンラインマニュアルの起動と終了

### 起動

[スタート] - [すべてのプログラム] - [Space-E Ver.5.2] - [ヘルプ] - [Moldヘルプ] を選択します。

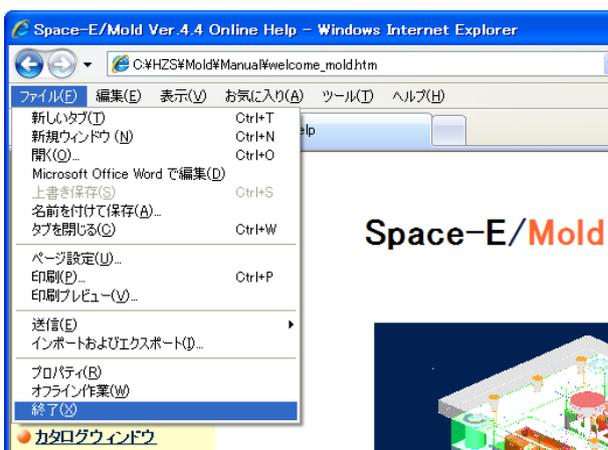


Space-E/Moldのオンラインマニュアルが表示されます。



## 終了

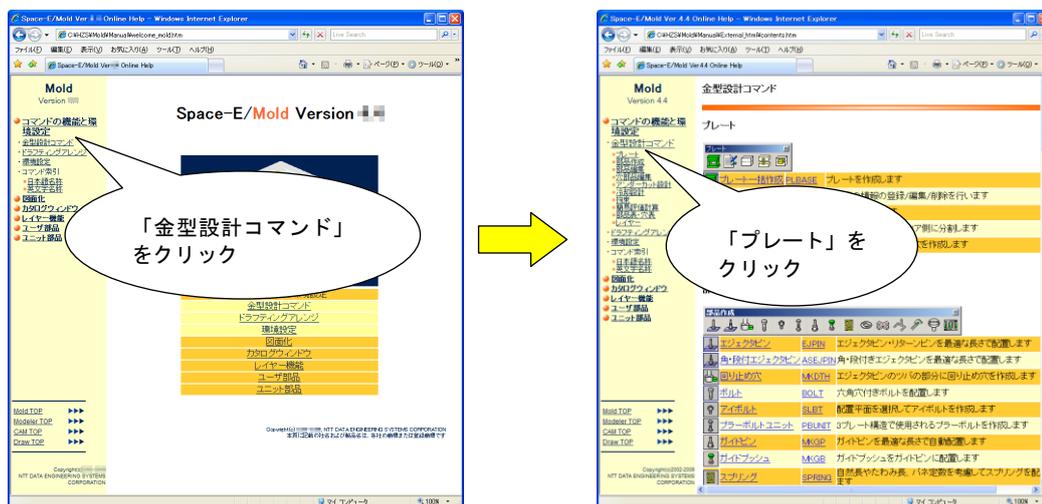
メニューから [ファイル] - [終了] を選択します。

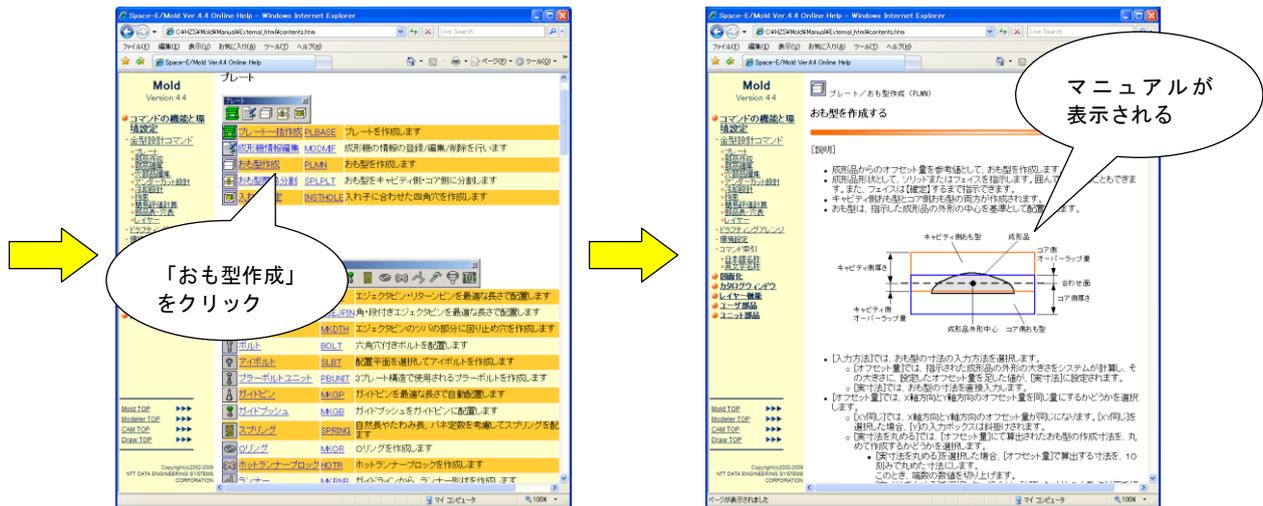


## ● オンラインマニュアルの構成と操作方法

Space-E/Moldのオンラインマニュアルはフレーム分けされており、左側のメインメニューをクリックすると、右側に対応したマニュアルが表示されます。

操作例) 金型設計コマンド《プレート/おも型作成》のマニュアルを参照する時





各コマンドマニュアルは、以下のようなフォーマットで記述されています。

部品編集 / 部品編集 (MODPARTS)

標準部品ライブラリで作成した部品を編集する

---

[説明]

- 編集する部品を指示すると、部品の寸法が表示されたプロパティウィンドウが表示されます。ここで、新しい寸法に変更し、[OK]を押すと、指示した部品の寸法が変更されます。
- プロパティウィンドウにて「類似」を押すと、現在の部品と同じようなカテゴリや発注コードを持つ部品一覧が表示されます。部品一覧から変更したい部品の「採用」ボタンを押すと、プロパティウィンドウの部品が切り替わります。
- プロパティウィンドウ左下の「関連穴を更新する」にチェックが入っている場合には編集する部品の関連穴も再作成されます。
- プロパティウィンドウ左下の「同じ部品を一括編集する」がチェックされている場合は、指示部品と同じ部品を一括編集します。「同じ部品」とは配置点が同一平面上にあり、発注コードが同じ部品を指します。
- 部品の属性は、編集後も保持されます。
- 関連穴を再作成するときに次のダイアログが出てきます。[はい]を選択すると、部品作成時に定義された穴のターン属性を参照して穴部品の径、ピッチ、オフセットの情報に基づいた関連穴が作成されます。[いいえ]を選択した場合には、デフォルトで定義されている情報が適用されます。

[制限]

- 標準部品ライブラリ以外で作成された部品は、編集できません。
- ユニット部品は、構成する単体部品のみ編集できます。
- 更新できる関連穴については、編集する部品とアセンブリ拘束が付加されているものに限ります。また、穴を開ける対象となるプレートが認識できない場合には穴は再作成されません。

[操作]

● 部品の編集      ● 関連穴を同時に更新する      ● 同じ部品を一括編集する

---

● 部品の編集

編集の対象となる部品を指示してください。 (1)

編集する部品を指示します。

← コマンドの名称

← コマンドの機能

← 説明

← 制限

← 操作

← 操作例

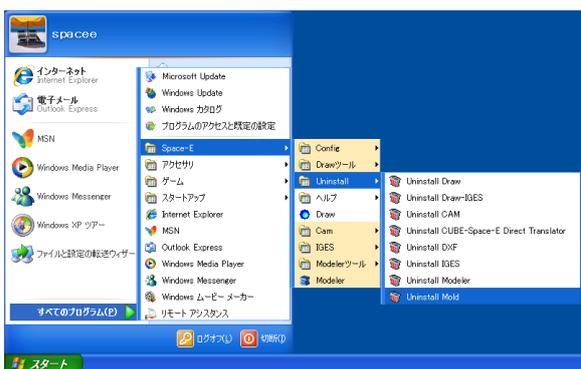
## 付録

### ● Space-E/Moldのアンインストール

Space-E/Mold旧バージョンのアンインストールの手順は次のとおりです。

1. AdministratorまたはAdministrator権限を持つユーザでログオンします。

メニューから [スタート] - [すべてのプログラム] - [Space-E Ver.\*.\*] - [Uninstall] - [Uninstall Mold] を選択します。



2. 「はい」をクリックします。



3. 旧バージョンのアンインストールが開始されます。  
削除されたら「OK」をクリックします。



4. Space-E/Moldをアンインストール後は、必ずPCを再起動してください。

● Space-E/Modeler, Space-E/Drawの環境の復旧

Space-E/Moldのインストール時に、Space-E/Modeler、およびSpace-E/Drawのセットアップ環境をSpace-E/Mold用に一部変更しているため、Space-E/Moldをアンインストール後にはセットアップ環境の復旧が必要になります。  
(Space-E/Moldアンインストール後、PCを再起動してから作業してください)

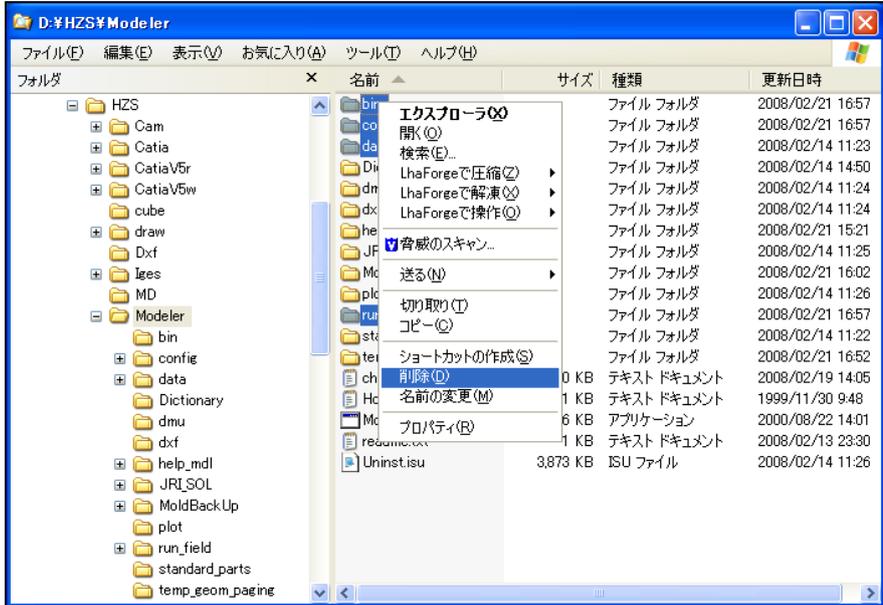
変更しているフォルダリストは以下のとおりです。(インストール先ドライブより記述しています)  
Space-E/Moldをインストールする前の状態のファイルが、¥HZS¥Modeler、¥HZS¥Drawのそれぞれのフォルダの下の「MoldBackUp」フォルダにバックアップされています。  
ここでは、「MoldBackUp」フォルダ中のフォルダまたはファイルを元の場所 (Space-E/Moldをインストールする前の場所) に戻します。

Space-E/Modeler, Space-E/Drawの環境がバックアップされている場所	Space-E/Mold用に変更したフォルダ
¥HZS¥Modeler¥MoldBackUp¥bin	¥HZS¥Modeler¥bin
¥HZS¥Modeler¥MoldBackUp¥config	¥HZS¥Modeler¥config
¥HZS¥Modeler¥MoldBackUp¥data	¥HZS¥Modeler¥data
¥HZS¥Modeler¥MoldBackUp¥run_field	¥HZS¥Modeler¥run_field
¥HZS¥Draw¥MoldBackUp¥icon	¥HZS¥Draw¥icon
¥HZS¥Draw¥MoldBackUp¥gal_field	¥HZS¥Draw¥gal_field
¥HZS¥Draw¥MoldBackUp¥run_field	¥HZS¥Draw¥run_field
¥HZS¥Draw¥MoldBackUp¥work_field	¥HZS¥Draw¥work_field

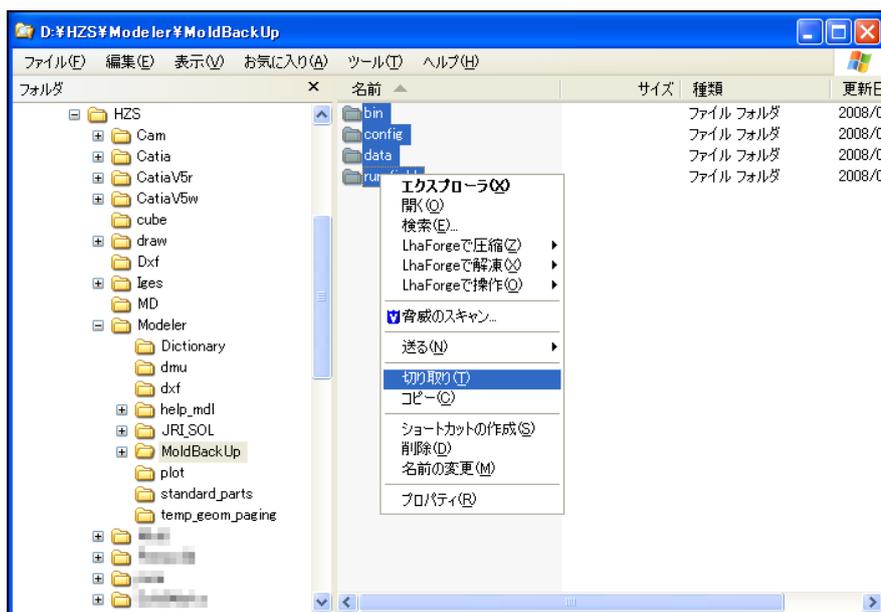
表1 : Space-E/Moldのバックアップ対応表

復旧作業を始める前に、表1「Space-E/Moldのバックアップ対応表」のフォルダがあることを確認してください。  
環境を戻すファイルが複数あるので、1つずつ確認しながら復旧作業を行ってください。

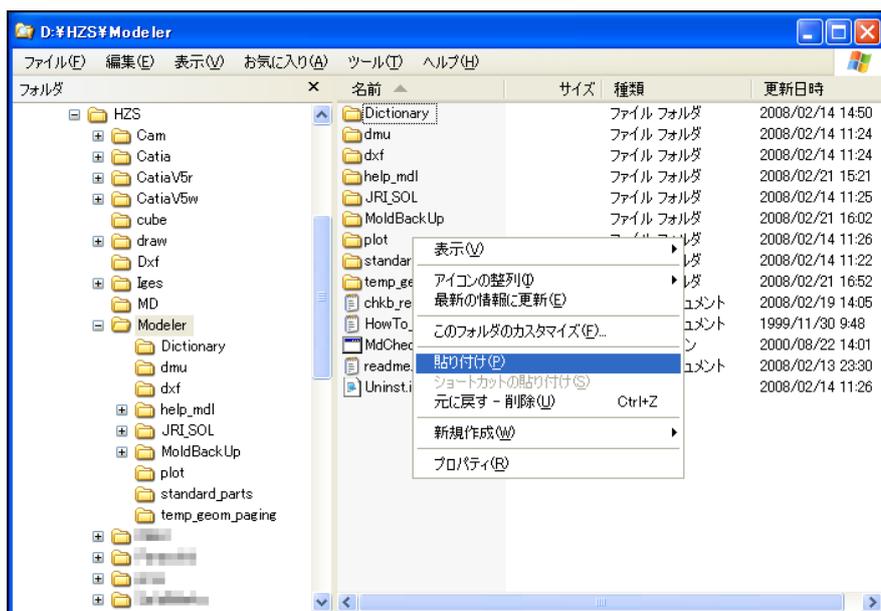
まず「¥HZS¥Modeler¥MoldBackUp」以下のファイルを戻す手順を記します。  
「¥HZS¥Modeler」フォルダ中の「bin」、「config」、「data」、「run\_field」フォルダを削除します。



続いて、「¥HZS¥Modeler¥MoldBackUp」フォルダ中の「bin」、「config」、「data」、「run\_field」フォルダをエクスプローラの「編集」－「切り取り」で切り取ります。



続いて、「¥HZS¥Modeler」フォルダに「編集」－「貼り付け」で貼り付けます。



同様の手順で¥HZS¥Draw以下を戻す手順を行ってください。

「run\_field」「work\_field」のファイルを復旧する際は、作成したファイルを削除または上書きしないように慎重に行ってください。（必要なファイルは別のフォルダに移しておくことをお勧めします。）

復旧が終了したら、「MoldBackUp」フォルダは削除してください。

**注意：**

MoldBackUpフォルダがある状態ではMoldを正常にインストールすることはできません。

## ● Space-EシリーズをWindows XP ServicePack3で動作させる際の注意点

### 1. 概要

Windows XPのServicePack3 (以下XP-SP3) では、セキュリティ強化の為に機能が多く含まれています。このため、Space-E/Mold Ver.5.2をXP-SP3で実行する場合、XP-SP3固有の操作が必要になる場合があります。

以下の手順を参考に操作をお願い致します。

### 2. インストール手順

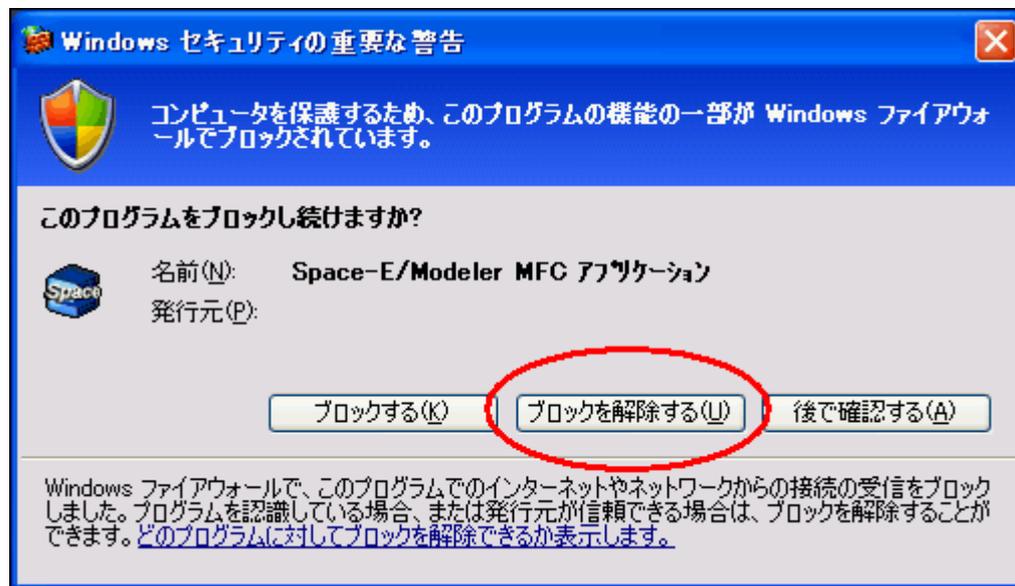
Space-E/Mold Ver.5.2のインストールは、必ずインストールガイドの手順に従ってインストールを行ってください。

### 3. Windows ファイアウォールによる影響

XP-SP3はデフォルトでWindows ファイアウォールが有効になります。この機能により、Space-Eのいくつかのモジュールが影響（モジュール間の通信が遮断される）を受け、正常に動作しない場合があります。

この影響を回避するためには、下記手順でSpace-Eモジュールを例外リストに登録していただく必要があります。

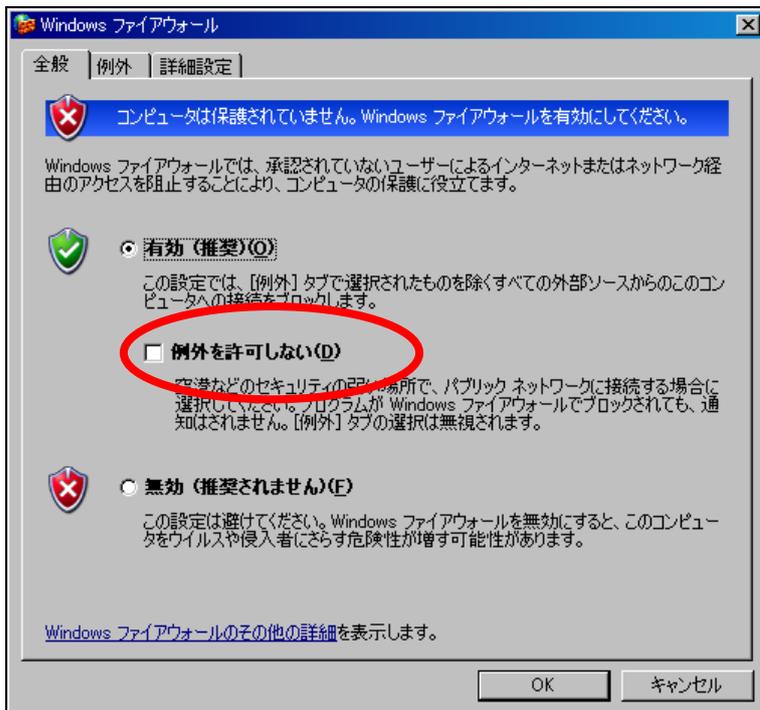
Space-E/Modeler、Draw起動時、各種CAMモジュール起動(スタートアップ含む)・計算実行時にこの操作が必要です。



Space-EモジュールがWindows ファイアウォールにブロックされた時のダイアログ  
(Space-E/Modeler起動時の場合)

このダイアログが表示された場合は、「ブロックを解除する(U)」をクリックして、該当モジュールを例外リストに登録します。この操作により、該当モジュールが例外リストに登録され、次回からこのダイアログは表示されなくなります。

注意)「コントロールパネル」の「Windowsファイアウォール」の「全般」パネルの「例外を許可しない」にチェックが入っていると上記操作は有効になりません (XP-SP3インストールのデフォルトではチェックは入りません)。



4. Internet Explorerのセキュリティ強化による影響

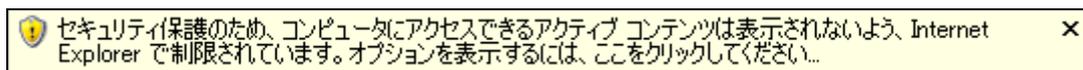
XP-SP3では、Internet Explorer(以下IE)に対して各種の機能変更が行われていますが、その中にhtmlファイルのアクティブコンテンツと呼ばれる機能に対する実行制限が加わっています。

IEでドロップダウンリストによるページ切り替えなどを含むページを閲覧する場合、次のような警告が表示され、ドロップダウンリストによるページ切り替えができない場合があります。

ドロップダウンリストによるページ切り替えの例



## IEの警告表示

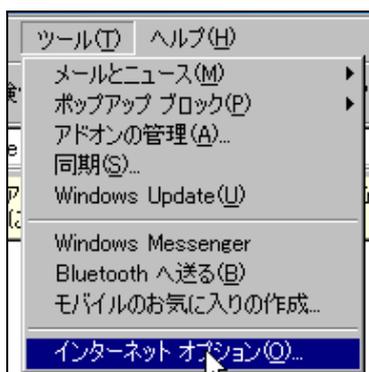


この場合は、指示のように警告表示の領域をクリックして、表示されるダイアログから「ブロックされているコンテンツを許可 (A)」をクリックしてください。これによってページの切り替えが可能になります。

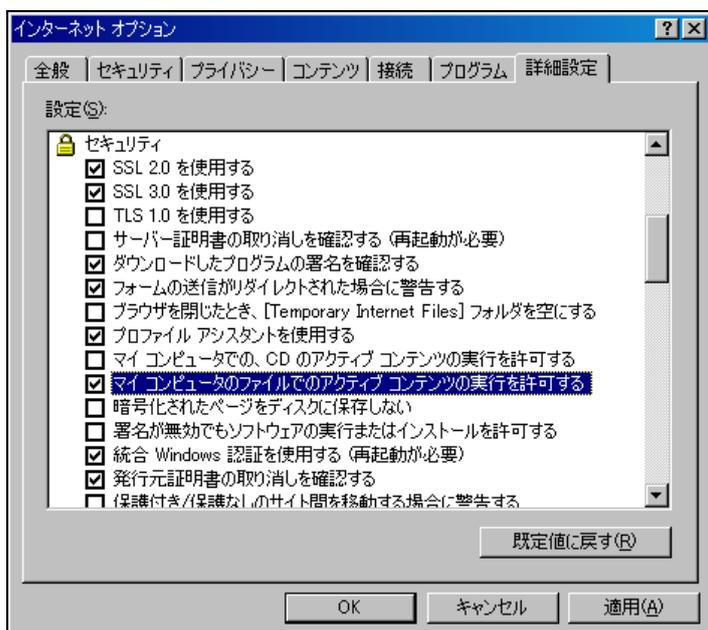


または、次の手順によってIEのインターネットオプションの設定を変更してください。この設定後は、閲覧時毎の操作は必要なくなります。但し、*Space-E*以外のファイルに対しても「アクティブコンテンツの実行」が可能になりますのでご注意ください。

IEの「ツール」→「インターネットオプション(O)」でインターネットオプションのダイアログが表示されます。



表示されたダイアログの「詳細設定」→「セキュリティ」→「マイコンピュータのファイルでのアクティブコンテンツの実行を許可する」にチェックを付けてください。



*Space-E/Mold Version 5.2*のインストールDVDに対して以下のウイルスチェックプログラムを使用してウイルスに感染していないことを確認しています。  
また、インストール後のコンピュータに対しても同様の確認作業を行いウイルスに感染していないことを確認しています。

マカフィー株式会社

*McAfee VirusScan Enterprise Version 8.5.0i*

2013/01/14付けウイルス定義ファイル6955

スキャンエンジン(32ビット) 5400.1158

**Space-E/Mold Ver.5.2 インストールガイド**

---

初版発行 2013年1月15日  
発 行 株式会社NTTデータエンジニアリングシステムズ  
〒144-8601 東京都大田区西蒲田7-37-10

---